

環境に係る情報協議会

国営かんがい排水事業 北斗用水地区

1. 環境に対する考え方

《農村環境の現状と課題》（「北斗市田園環境整備マスタープラン」より）

【現状】

北斗市における河川は、すべて函館湾に注ぐ河川である。近年では流域市町は連携し水質浄化のための施策と生態系に優しい親水性豊かな河川改修を進めている。

【課題】

北斗市の主要河川は過去において、住居地帯及び農用地等に洪水被害をもたらすとともに、土砂流出により函館海域の水質汚濁の原因となっている。そのため、河川改修事業による改善と併せて、親水機能や自然形態に配慮し恵み豊かな環境の保全が求められている。

《環境保全の基本的考え方》（「北斗市田園環境整備マスタープラン」より）

親水機能や景観性の整備促進、自然生態系や自然浄化力の維持に配慮した河川や農業用排水路の改修を進める。

2. 環境配慮方針

《基本方針》

本地区は、北海道北斗市に位置し、二級河川大野川水系大野川右岸に拓けた農業地帯であり、農地、山林及び河畔林により農村景観が形成されている。
本地区の農業水利施設及びその周辺では、希少な魚類や植物等多くの生物の生息生育が確認されている。
本事業においては、北斗市の田園環境整備マスタープラン等との整合を図り、生態系や景観との調和に配慮する。

《取組内容》

(1) 生態系への配慮

- ・流域変更水路の整備にあたり、山林を横断する区間があることから、トンネル工を採用することで山林伐採及び林内に生育する希少植物への影響を回避する。
- ・魚類の生息環境に配慮するため、工事の実施に当たっては、沈殿・ろ過等の濁水処理施設を設置し、濁水流出を防止する。

(2) 景観への配慮

- ・小水力発電施設の整備に当たっては、建屋について、周辺景観との調和に配慮した色彩を採用する。